

令和8年度事業計画策定に向けて

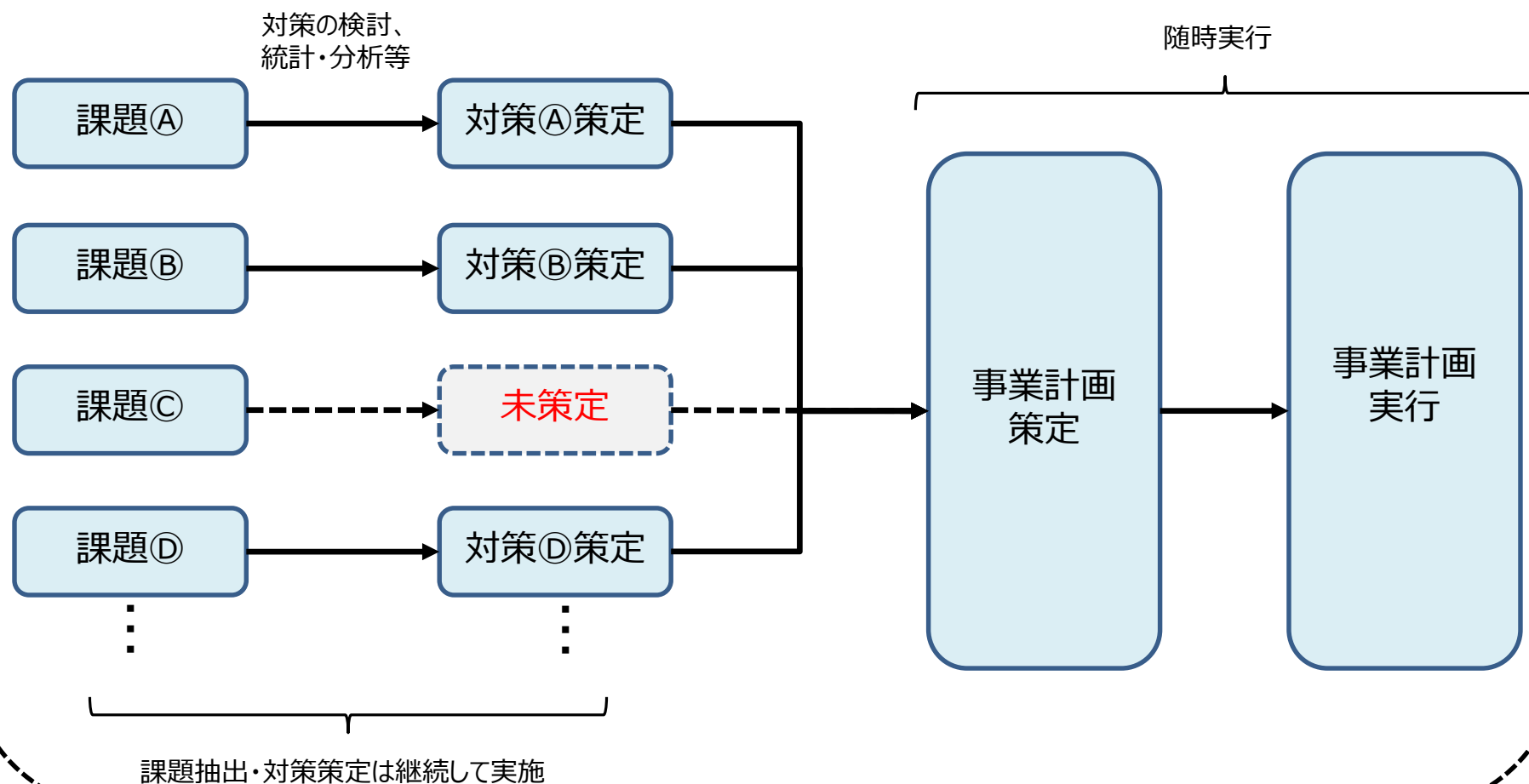
1. 要旨

- 今年度（令和 7 年度）の事業計画策定にあたっては、支部加入者の健診関連データ等をもとに支部の健康課題を整理したうえで、これらの課題への具体的な取組を事業計画に取り込んだ。
- 一方で、東京支部においては、加入者の東京都内の在住割合が半分以下であり、単純に加入者の健診関連データの平均値等を活用することは、ミスリードになる。
- このため、次年度（令和 8 年度）は、支部の特性を踏まえて課題を整理し、事業計画を策定することとする。

2. 対応方針

支部の特性を踏まえた課題を幅広く抽出・整理し、対応方針を次年度の事業計画に反映させる。
なお、計画策定時点で対応方針が固まらない課題についても、継続して検討を進め、随時実行に移していく。

(対応イメージ)



2. 対応方針

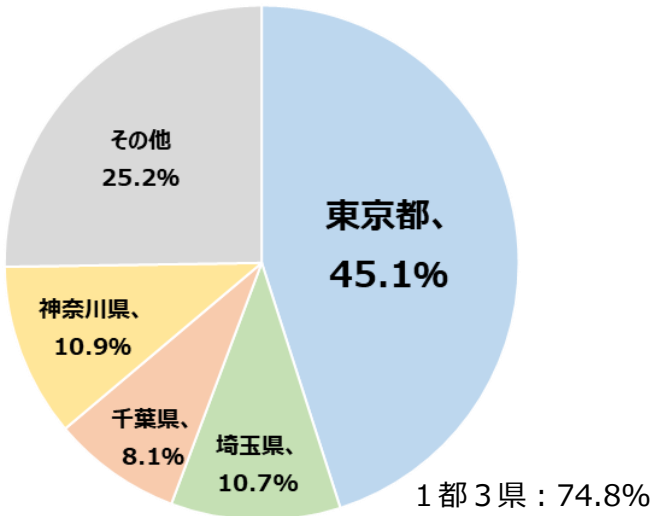
(現時点で想定している課題)

	区分	課題	参考資料
①	戦略的保険者機能	加入者の東京都内の在住割合が半分以下であるという地域特性を把握したうえで施策を検討する必要がある	図表 1
②	戦略的保険者機能	都内においても、23区と多摩地域では、自治体の構造や加入者特性（健康課題等）が異なるため、これに応じた施策を検討する必要がある	図表 2
③	戦略的保険者機能	各種施策の効果向上には、地域や関係団体とのさらなる連携強化が必要	—

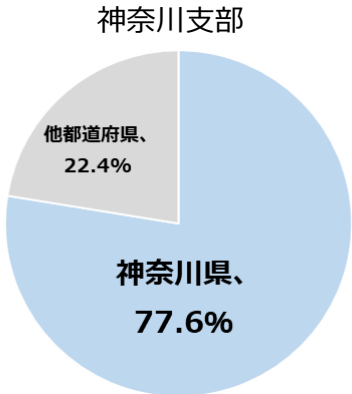
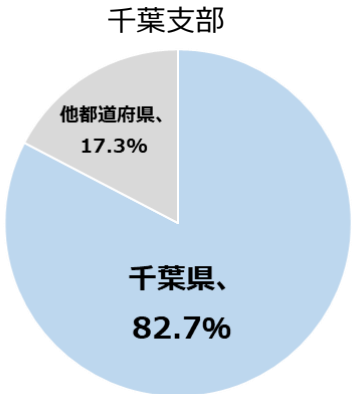
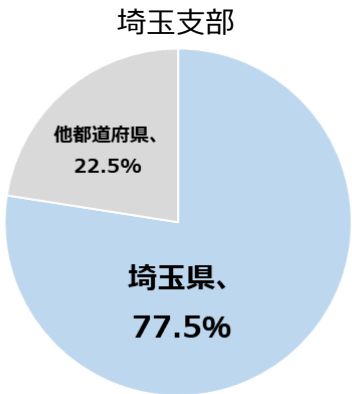
図表 1 東京支部加入者 居住都道府県別人数（令和 6 年度末）

		加入者数
合 計		6,184,164
居 住 都 道 府 県	東京都	2,786,207
	埼玉県	659,687
	千葉県	503,346
	神奈川県	673,877
	その他	1,561,047

＜ 東京支部加入者、居住都道府県別構成割合 ＞



他支部の構成割合



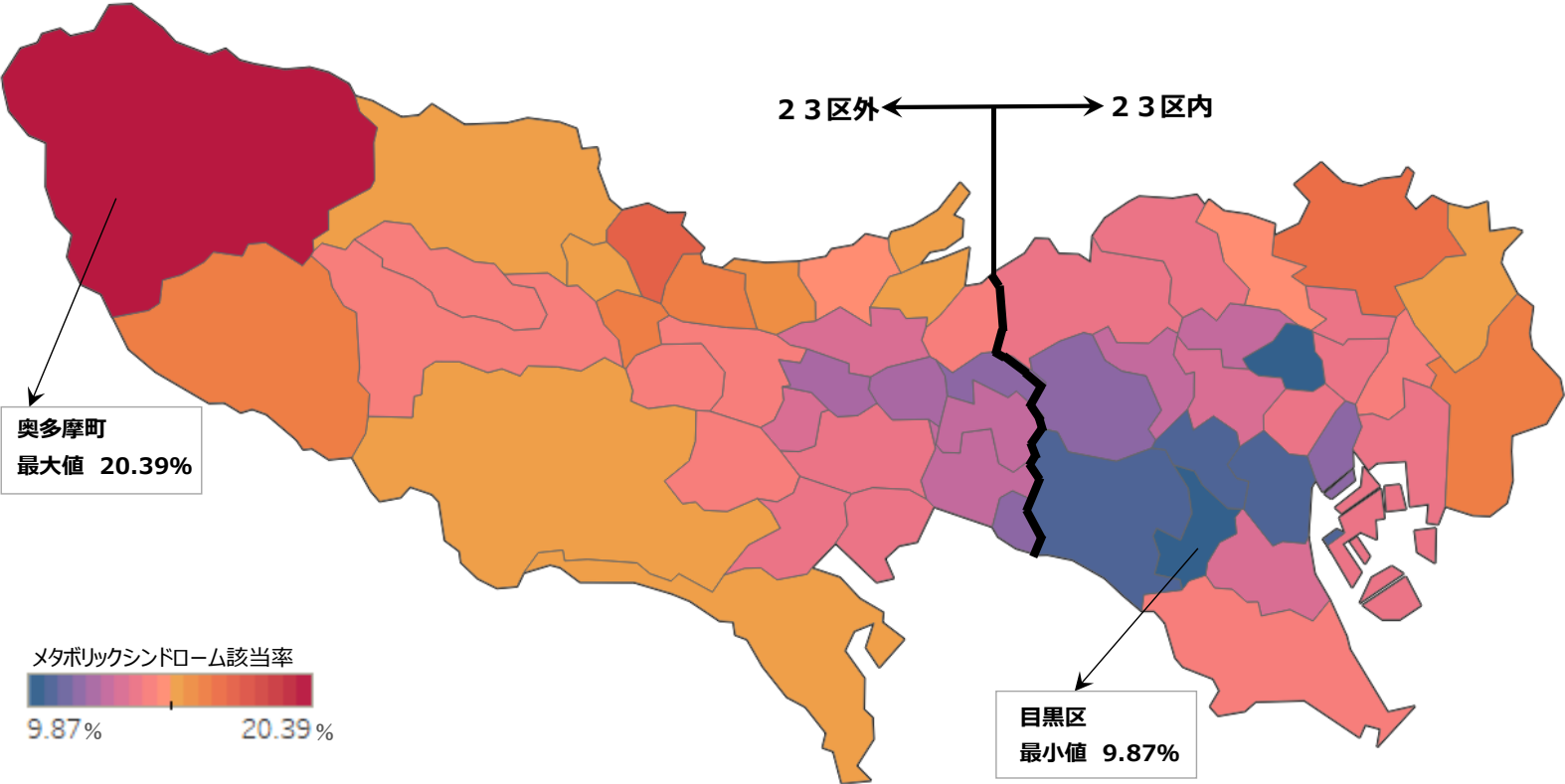
※データは協会けんぽ情報システムから抽出

図表 2 東京支部被保険者 健診結果の状況（令和6年度）

メタボリックシンドローム該当率

全国	16.8%
東京支部	14.2%

< 東京都内居住、東京支部被保険者 メタボリックシンドローム該当率の分布 >



※データは協会けんぽ情報システムから抽出

図表 3 東京支部 組織の見直し

